

2022年度 帯広コア専門学校 自己評価報告書

1. 実施方法

学校長指示の下、事務長により評価表を作成し、それぞれの項目について点検、評価を行った。評価は、「1（不適切）、2（やや不適切）、3（ほぼ適切）、4（適切）」の4段階評価とし、可能な限り根拠や課題を明示するように努めた。

2. 自己評価 結果（状況・課題等）

基準1 教育理念・目的・育成人材像等		評価	前回
【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか	3.6	3.4
【1-2】	学校の特色は何か	3.5	3.3
【1-3】	学校の将来構想を抱いているか	3.4	3.3
<p>十勝唯一の総合的高等教育機関として常に地域社会の将来を見つめ”学校の価値”を考え、変化を模索している。急速に進む人口減少・少子高齢化、テクノロジーの発達、産業構造や社会システムの変化、更に新型コロナの影響など学校を取り巻く環境が大きく変化しており、各専門職の領域における教育のあり方や内容など更に活発化させる必要があると考えている。</p> <p>本校のミッションを「地域のHUB」と定義しているものの、まだまだ活動として十分とは言えず、さらに、計画的に学内での意識向上を図り、地域社会とのコミュニケーションを活発化させて行きたい。学校、教育も更なる進化が必要で、理念・目的・育成人材像など適時見直しが必要である。</p>			

基準2 学校運営		評価	前回
【2-4】	運営方針は定められているか	3.4	3.3
【2-5】	事業計画は定められているか	3.3	3.3
【2-6】	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.6	3.3
【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3.0	2.6
【2-8】	意思決定システムは確立されているか	3.3	3.3
【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	3.0
<p>運営方針や事業計画の作成&周知には、不十分な部分があり特に課題を感じている。2023年度向けの事業計画を作成し、それをベースに学内および地域とのコミュニケーションを重ねて行く計画である。</p> <p>運営体制については、特に情報学科の教員体制整備が急務であり、まずは、次年度に向けて新規の職員採用と教員の学内異動の調整を行っている。教員体制は、今後もPCBの観点からも計画的に整えて行かなければならない。事業計画の中で、情報化を含め設備投資やスタッフィングについても明記する事とする。</p>			

基準3 教育活動		評価	前回
【3-10】	各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3.3	3.0
【3-11】	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3.2	3.0
【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7	3.1
【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3.8	3.3
【3-14】	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3.4	3.0
【3-15】	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.0	2.7
【3-16】	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1	2.5
【3-17】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.9	3.5
【3-18】	資格取得の指導体制はあるか	3.7	3.3
<p>地域産業の動向や社会環境の変化に合わせカリキュラム構成を再検討し、教育課程編成委員会の意見を参考にしている。学科ごとの目的、使命を再認識し、それぞれの到達レベルに向けた指導方法と体制をさらに強化したい。成績表や単位認定に関しては、より正確で公正であるよう改善する。また、授業評価に関しては、アンケート実施など少し改善に留まっており、さらに改善して行く。学生の学力レベルに大きな差が見られ、個別指導で教員の負担が大きく、入学選考の在り方も含め、指導方法などについて検討を続け改善したい。</p>			

基準4 教育成果		評価	前回
【4-19】	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3.6	3.1
【4-20】	資格取得率の向上が図られているか	3.3	3.0
【4-21】	退学率の低減が図られているか	3.1	2.6
【4-22】	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.9	2.5
<p>学生との相談や個別面談などを含めコミュニケーションには十分な配慮がある。少人数の学校ならではの良い部分と考えるので継続して行きたい。就職率についても、学生一人一人の個性を活かせるよう個別指導に取り組み成果が出ている。</p> <p>ただ、“健康上の問題”、“進路変更”などでの退学、休学があり、入学以前の周知活動にも改善の機会があると考え。入学前のコミュニケーションにも注力する。</p> <p>卒業生に関しては、本年度から授業への参加を一部学科で実現できた。今後も更に関係強化を図って行きたい。</p>			

基準5 学生支援		評価	前回
【5-23】	就職に関する体制は整備されているか	3.6	3.3
【5-24】	学生相談に関する体制は整備されているか	3.4	2.8
【5-25】	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.3	3.2
【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4	3.1
【5-27】	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.0	3.1
【5-28】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	2.9	2.7
【5-29】	保護者と適切に連携しているか	3.3	2.9
【5-30】	卒業生への支援体制はあるか	2.6	2.4
<p>学生支援に関しては、経済的な支援を行う制度があるが、今後、改善についての議論が必要である。コロナ禍で実施できていなかった地域ボランティア活動など地域と連携&再開し、学生との多様なコミュニケーション機会を増やし相互理解を深めたい。</p> <p>保護者とのコミュニケーションには課題がある。一部、問題がある学生の保護者との3者面談などは、積極的に行っているが、その他の保護者との連携が依然不十分である。PTA活動もほぼ無く大きな課題と認識している。新型コロナウイルスの状況も見ながら、PTAとの連携を実施したい。</p>			

基準6 教育環境		評価	前回
【6-31】	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1	2.4
【6-32】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.2	3.1
【6-33】	防災に対する体制は整備されているか	3.4	3.3
<p>校舎、什器の老朽化や教室不足、設備更新が大きな課題である。昨年、全教室にエアコン設置は完了し、一部では環境改善は実施できた。引き続き、事業計画の中で教育環境整備を計画的に実施して行く。</p> <p>学外実習やインターンシップなどは、コロナ禍の影響が大きかったが、今後は、コロナ規制の緩和により、より充実できるものと期待している。また、学生による出前授業の開催や学習成果を地域社会へ発信する学内セミナーなど積極的に実施する。特に、最新のICT技術を学生が学び地域社会へ発信する”Tech Lab授業”を継続拡大する。</p>			

基準7 学生の募集と受け入れ		評価	前回
【7-34】	学生募集活動は、適正に行われているか	3.2	3.1
【7-35】	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.0	2.7
【7-36】	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3.5	3.4
【7-37】	学納金は妥当なものとなっているか	3.4	3.3
<p>学生募集は、入学人数の確保が非常に難しい状況である。本校で学ぶ専門職の地域社会でのプレゼンスの向上を図り、地域に今後必要とされる人材をしっかりと育てたい。入学選考は、いつも指摘されるようにボーダーフリー状況にある。入学希望者を選抜できる状況を目指して活動を継続する。学納金については、学校DXの推進の中で低減を目指していく。</p>			

基準8 財務		評価	前回
【8-38】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.9	2.8
【8-39】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.1	3.2
【8-40】	財務について会計監査が適正に行われているか	3.7	3.8
【8-41】	財務情報公開の体制整備はできているか	3.6	3.5
<p>本校は適切に財務処理を行っており、財務情報も公開しているが、周知が不十分であることを改めて認識した。事業計画と合わせて周知徹底を図る、また財務基盤の安定のためには、学生数の確保が重要であるが、今後の社会状況からは、入学生の増加は、益々難しくなって行くと考ええる。リスキリングなど地域社会の将来を見据えながら新たな事業モデルへチャレンジする。</p>			

基準9 法令等の遵守		評価	前回
【9-42】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8	3.6
【9-43】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.0	3.3
【9-44】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.2	3.3
【9-45】	自己点検・自己評価結果を公開しているか	3.1	3.3
<p>北海道学事課と必要な都度確認し指導を受ける手順としている。情報管理に関しては不十分な点もあり、さらに学校データの整理&管理の見直しを進める。自己評価の公表や学校関係者評価の公表は、ホームページで行っている。</p> <p>今回の自己評価結果も含め、事業計画の中で計画的に改善して行く。</p>			

基準10 社会貢献		評価	前回
【10-46】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.7	3.4
【10-47】	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.7	3.2
<p>社会貢献は、学生および学校にとって地域社会との大きな接点と認識している。ボランティア活動に加え出前授業や学内セミナーに留まらず、学校施設も地域社会へ広く開放し、学校を地域の人と人、企業と企業をつなぐハブとなるよう活動して行く。</p>			

以上